

4°C

holdings group

## 株主の皆様へ

～すべては、お客様の“笑顔”や“ときめき”のために～

当社グループは、すべてのステークホルダーに対して誠実に対応し、お客様に信頼される企業、社員に夢を与えられる企業、社会に貢献できる企業、株主に期待される企業を目指すことを経営理念としています。

そして、常に挑戦の姿勢で物事に取り組み、新しい市場を創造し、価値を創り続けることにより、持続可能な発展を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援の程、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長  
増田 英紀

## 株式会社4°Cホールディングス 第75期中間期株主通信

(2024年3月1日から2024年8月31日まで)

## 2025年2月期第2四半期(中間期)の総括

2025年2月期第2四半期累計期間(2024年3月1日～2024年8月31日)の連結業績は、194億60百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益は8億35百万円(前年同期比21.9%減)、経常利益は10億48百万円(前年同期比18.4%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は6億71百万円(前年同期比3.5%減)と、一時的に経費が先行したこともあり増収減益となりました。

ブランド事業(旧ジュエリー事業)を展開するエフ・ディ・シー・プロダクツグループでは、女性客の支持拡大に向けた商品・販売戦略の見直しによる基盤づくりに取り組みました。MD改革によるテイスト幅の拡大や、プロモーション活動が段階的に奏功し、既存店売上高は改善傾向にあります。

アパレル事業では、デイリーファッション「パレット」を展開する(株)アーージュは、出退店の影響により一時的に利益は減少しましたが、出店効果や既存店の伸長により売上高は拡大しました。また、アパレルメーカーでは、強みである海外生産基盤を背景に、主力取引先との取り組みが拡大し、売上・利益ともに好調に推移しました。

## 下期の重点施策と通期業績見通し

今期はブランド事業において、女性客の支持拡大に向けた商品・販促戦略の見直しを進め、新しい「4°C」ブランドの提供価値の基盤づくりに取り組んでおります。下期には、これまで取り組んできた施策の効果が表れ、業績への寄与が見込まれるものと考えております。

最大需要期であるクリスマスを中心に、モード、オーセンティックのテイストや高価格帯の商品が出揃います。また、10月4日にリリースした「The Tidal」を中心に、新しい「4°C」を伝えるプロモーションを展開いたします。店頭演出も変更し、オープン仕器の設置により、商品を手に取りやすくすることで、店頭で

の体験価値を高めていきます。これらの取り組みにより付加価値を高め、女性客からの支持を拡大していきます。

アパレル事業では、下期の「パレット」の新規出店は3店舗を計画しており、年間10店舗の新規出店により売上高を拡大していきます。また、好調なアパレルOEM・ODMでは、海外生産基盤と企画力の優位性を活かし、更なる受注拡大に努めてまいります。

両事業ともに着実に成果を上げることで、通期業績において売上高410億円、営業利益23億50百万円、経常利益28億円、当期純利益16億円、3期連続の増益の達成を目指します。

## 未来志向の成長投資

この度、株式取得により、12月2日(予定)に(株)羅針を当社グループへ迎えることといたしました。(株)羅針は、高級ブランド時計専門のリユース事業を運営しており、高いメンテナンス技術と充実したアフターサービスを武器に、独自性を発揮し成長してきました。収益性の高いビジネスモデルを構築しており、当社が培ってきたブランドビジネス、webマーケティング、セールスプロモーション、店舗開発のノウハウを活かすことで、更なる成長が期待されます。

2030ビジョンにおいて、新規商材や海外展開、M&Aなど、ブランド事業への成長投資による事業領域の拡大を掲げました。この度、成長を続けるリユース市場へ新たに参入し、飛躍的な利益成長の実現を目指して、未来志向の成長投資を実行いたしました。持続的成長に向けた強固なポートフォリオを構築することで、更なる企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 第7次中期経営計画の基本方針(対象期間:2025年2月期～2027年2月期の3カ年)

## Challenge for Future 未来への挑戦 ～2030年に向けて～

『環境変化への対応』を前提に『顧客提供価値』を追求し、将来の飛躍に向けた成長基盤を構築していきます。

## 第7次中期経営計画の概要

「100年ブランド」に向けたこれからの50年の提供価値づくり

## ＜事業戦略の推進＞

- ① ファッションジュエリーの再構築(商品構成・MDの刷新) ② 百貨店・ECチャネルの拡充 ③ 顧客化の深耕・OMO戦略の推進

第8次中期経営計画以降の成長フェーズにつなげる  
4°Cブランドの新しい提供価値の基盤をつくる

## グループ連結数値ビジョン(2027年2月期目標)

第7次中計最終年度 第77期(2027/2)計画 増加率 第6次中計最終年度 第74期(2024/2)実績比較	売上高 450億円 +14.0%	営業利益 31億円 +47.8%
経常利益 36億円 +43.1%	当期純利益 20.5億円 +57.6%	のれん償却前ROE 6.4% 1.7ポイント改善

## 2025年2月期中間期(2024年3月~8月)連結決算概要

### 2025年2月期中間期連結業績

- 2025年2月期中間期は、「パレット」の計画以上となる7店舗の新規出店や既存店の伸長等により、3期連続の増収となりました。
- 利益面では、一時的に経費が先行したことから減益となりました。中間純利益は、保有株式を売却したことにより、ほぼ前年同期並みとなりました。

売上高

**19,460**百万円  
(前年同期比 +1.8%)

営業利益

**835**百万円  
(前年同期比 △21.9%)

経常利益

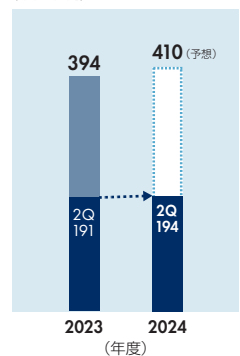
**1,048**百万円  
(前年同期比 △18.4%)

中間純利益

**671**百万円  
(前年同期比 △3.5%)

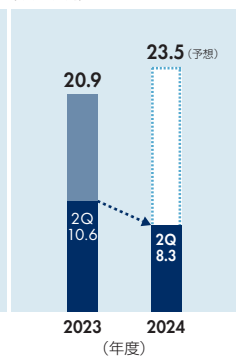
#### 売上高

(単位:億円)



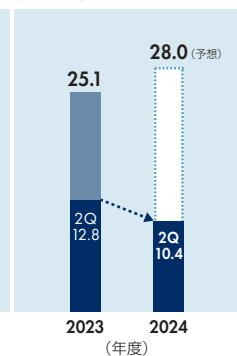
#### 営業利益

(単位:億円)



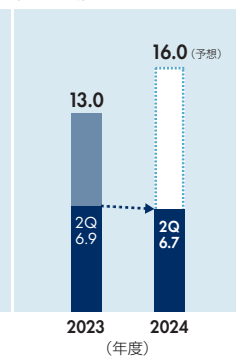
#### 経常利益

(単位:億円)



#### 中間純利益

(単位:億円)



### セグメント情報

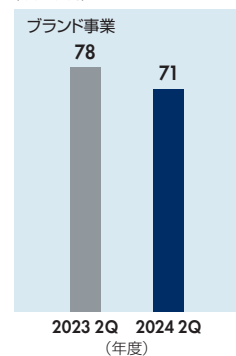
- ブランド事業を展開するエフ・ディ・シー・プロダクツグループは、女性客の支持拡大に向けた商品・販売促進戦略の見直しによる基盤づくりに取り組んでおります。MD改革によるテイストの幅の拡大、ブランドプロモーションの実施により、一時的に費用は先行しましたが、女性客の売上は拡大基調が続いています。
- デイリーファッション「パレット」を展開する(株)アージュは、計画以上の7店舗の新規出店や既存店の伸長により売上高が拡大いたしました。アスティグループは、強みである海外生産基盤を背景に、主力取引先との取り組みが拡大し、売上高・利益ともに好調に推移しました。

セグメント別業績	売上高 (単位:百万円)			セグメント利益 (単位:百万円)		
	2024年2月期中間期	2025年2月期中間期	前年同期比(%)	2024年2月期中間期	2025年2月期中間期	前年同期比(%)
ブランド事業	7,873	7,168	△8.9	533	382	△28.2
アパレル事業	11,237	12,291	+9.4	777	705	△9.3

注1:記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。注2:外部顧客に対する売上高を表示しています。

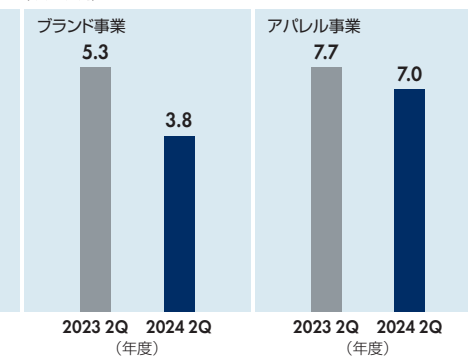
#### セグメント別売上高

(単位:億円)



#### セグメント別営業利益

(単位:億円)



## トピックス

### 「4°C」仙台パルコ2店・「4°C」京都大丸店 リニューアルオープン

#### 株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

2024年9月13日(金)に「4°C」仙台パルコ2店が、2024年9月20日(金)に「4°C」京都大丸店がリニューアルオープンしました。色合いをダークブラウンからナチュラルトーンに変え、石や植物などを演出に使い、温かみを感じる店舗に刷新しました。また、商品の陳列方法も立体的な演出ツールに切り替え、コーディネート提案の拡充、一部直接手に取ってご試着いただける仕書の導入など、お客様がより商品選びを楽しんでいただけるよう見直しを図っています。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



「4°C」仙台パルコ2店

### 「4°C」2024ホリデーコレクション

#### 株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

「4°C」のホリデーコレクションのテーマは“Nightscape”。見る方々に癒しと力を与えてくれる、光り輝く美しい夜景をイメージしたコレクションを展開します。ブルーやワインレッドの色味を中心とした天然石を使用し、海辺に浮かぶ幻想的な風景やネオンの光をモードかつエレガントに表現したジュエリーが特徴です。贅沢で特別なジュエリーは、1年最後のご自身へのご褒美に、また、大切な方への変わらない想いを伝える贈り物にぴったりなコレクションとなっています。ぜひ店頭または公式サイトをご覧ください。



「4°Cホリデーコレクション」広告

### ニューライン「The Tidal」デビュー

#### 株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

身につけるだけで背筋がのびる。前向きになれる。自信が湧く。  
少しだけど、でもそれは私の心を確実に強くしてくれる。  
満ち引きを繰り返す潮の流れのように。  
刻一刻と変化をやめない  
私に寄りそうジュエリー。

2024年10月4日(金)に、ニューライン「The Tidal」がデビューしました。コンセプトは、潮(=Tidal)が満ち引きするように変化する女性の心に寄りそうジュエリー。モードテイストのデザインに、ブラウン系や異形カットの石を使うことで、洗練されたラインナップとなっています。ぜひご覧ください。



「The Tidal」広告

### バスタオル寄贈

#### 株式会社アスティ

(株)アスティでは、広島市内の高齢者福祉施設に入所されている方々の長寿を祝うため、1972年から毎年「敬老の日」に合わせて、バスタオルの寄贈を行っています。54回目となる今年は、広島市内99カ所の施設にバスタオルとフェイスタオルのセット6,442組をお届けしました。また、9月2日(月)には広島市役所を訪れ、松井一貫市長に目録を贈呈しました。広島で生まれた企業として、今後も地域社会への貢献に取り組んでまいります。



広島市長へ目録を贈呈

### 「パレット」新店舗オープンについて

#### 株式会社アージュ

デイリーファッション「パレット」は、2024年6月26日(水)に京都府相楽郡に精華台店を、7月10日(水)に神奈川県相模原市にイトーヨーカドー相模原店を、10月24日(木)に奈良県北葛城郡にリーベル王寺店を、10月30日(水)に神奈川県川崎市にイトーヨーカドー川崎店を、11月1日(金)に大阪府枚方市北山にニトリモール枚方店をオープンしました。これにより、関東地区では10店舗、「パレット」全体では107店舗の店舗展開となり、今期も年間10店舗の新規出店を達成しました。「パレット」は引き続き出店拡大を行うとともに、これからも日々の暮らしでファッションを楽しみたいというお客様のために、いつも楽しい商品とサービスを提供し続けてまいります。



「パレット」精華台店

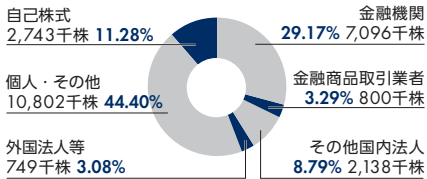
## 株主情報

### 株式情報 (2024年8月31日現在)

発行済株式総数	24,331,356株
1単元株式数	100株
株主数	25,400名

### 株式分布状況 (2024年8月31日現在)

#### ■ 所有者別株式分布



### 大株主 (2024年8月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	発行済株式(自己株式 を除く)の総数に対する 所有株式数の割合 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,152	9.97
第一生命保険株式会社	1,078	5.00
株式会社広島銀行	1,069	4.95
4℃ホールディングスグループ共栄会	805	3.73
株式会社伊予銀行	739	3.42
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	510	2.37
尾山嗣雄	405	1.88
SMBC日興証券株式会社	356	1.65
株式会社日本カストディ銀行(三井住友信託銀行 再信託分・株式会社もみじ銀行退職給付信託口)	352	1.63
株式会社三井住友銀行	350	1.62

注: 上記のほか当社所有の自己株式2,743千株があります。

## 会社概要 (2024年8月31日現在)

社名	株式会社4℃ホールディングス YONDOSHI HOLDINGS INC. (英文)
所在地	〒141-0021 東京都品川区上大崎二丁目19-10
設立年月日	1950年5月18日
資本金	24億8,652万円
事業内容	「4℃」ジュエリーを中心とするブランド事業、アパレルOEM・ODM及びデイリーファッション「パレット」をチェーン展開するアパレル事業
連結子会社	7社

## 株主メモ

決算期日	毎年2月末
定時株主総会	毎年5月
配当金支払株主確定日	毎年2月末、毎年8月末(中間配当)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
公告	(公告方法)当社の公告方法は電子公告としております。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 (公告を掲載するホームページアドレス) <a href="https://yondoshi.co.jp/">https://yondoshi.co.jp/</a>
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
証券コード	8008

## 株式事務のお問い合わせ

### 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター

お問い合わせ先

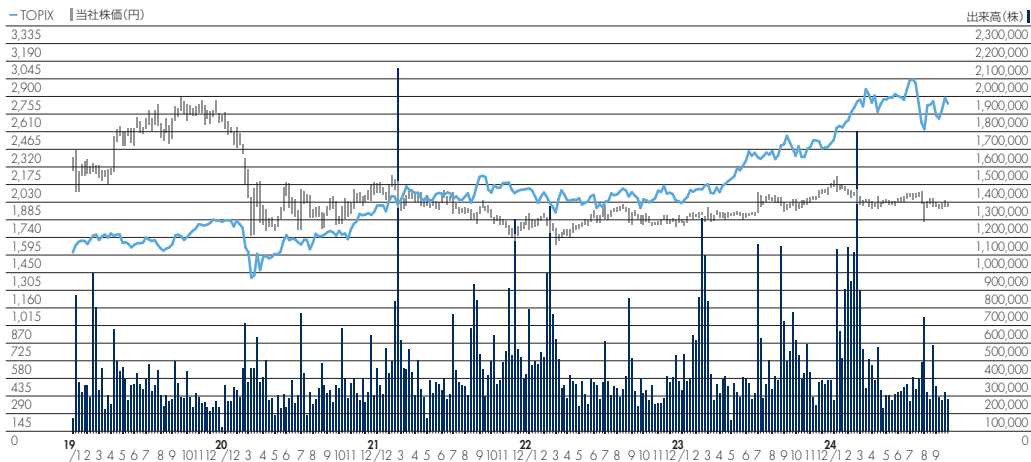
**0120-232-711** オペレーター対応 / 受付時間 午前9時～午後5時まで(平日のみ)

(ご注意)

- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 配当金の口座振込のご指定につきましては、各口座管理機関にお問い合わせください。

本株主通信に記載されている事項は、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と異なることがありますことをご承知おきください。

## 株価推移



当社のIRサイトでは、企業活動全般にわたる最新の情報をご提供しております。特に株主通信は、株主の皆様によりタイムリーに情報をご提供するため、四半期毎に作成しています。第1四半期および第3四半期株主通信は、ホームページのみでご覧いただけます。また、メールアドレスをご登録いただいた方に随時情報配信を行っております。是非ご覧ください。

URL <https://yondoshi.co.jp/>

IRお問い合わせ先 TEL: 03-5719-3295

経営企画室 E-mail: [ir-yondoshi@yondoshi.co.jp](mailto:ir-yondoshi@yondoshi.co.jp)

コーポレートガバナンス・ガイドラインについて

コーポレートガバナンスに対する基本的な考え方や取り組みを体系化したものを「コーポレートガバナンス・ガイドライン」としてまとめ、コーポレートサイトへ掲載しております。当社グループは、健全で透明性の高い企業グループとして社会の信頼と責任に応えてまいります。

URL <https://yondoshi.co.jp/company/governance/>